

# 図書館だより

平成23年9月

## 主な内容

- 巻頭言 .....1
- 読書体験記募集.....2
- 「おすすめしたいこどものほん」巡回展示...2
- 「この本いいよ！」展示.....2
- マイクロリーダープリンターが新しくなりました...2
- 館内展示コーナー.....3
- レファレンス事例紹介 .....3
- おしらせ・利用案内 .....4

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

島根県立図書館報 第194号

## 全国図書館大会 = 松江大会に向けて

(社)日本図書館協会理事長  
塩見 昇

古事記編纂1300年記念など歴史と神話の古都にふさわしいイベントが予定される2012年の秋に、松江で全国図書館大会が開かれます。島根県（教委）、松江市（教委）と社団法人日本図書館協会が共催する全国的な図書館の振興をめざす集会です。

全国図書館大会は、日本図書館協会が全国各地の県・市などのご協力を得て毎年開催しているわが国で最も大きな規模の図書館の集まりで、公共図書館をはじめ大学・学校・専門・国立国会図書館など、広範な図書館関係者や図書館に関心を寄せる市民の人たちも含めて千数百人が一堂に会し、図書館の整備・振興について研究・協議し、交流を図る場です。

第1回目が開かれたのは1906（明治39）年で、以来100年余にわたって、関東大震災の年と戦中・戦後の混乱期を除いて毎年開催され、2012年は通算98回にあたります。松江では1975年に一度開いており、来年は2度目の開催となります。

大会では、その折々の重要なトピックにつ

いて最新の情勢報告や問題提起がなされるほか、開催地からの情報発信も参加者の期待の集まるどころです。島根県ではいま「子ども読書県しまね」をめざし、学校図書館の振興に格別の力が注がれていることは全国的にも注目されており、その動きは是非大会参加者が情報としても共有し、各地の実践に活かしたいことです。

大会の開催に際しては、県内の図書館員の皆さんに多大のお手数を煩わせることは否めませんが、館種を越え、全国的に広範な地域から参加する人々との交流を通して、大会が地元の図書館振興にとっても一層の弾みをもたらすことを期待しています。

図書館と学校教育、地元の出版界等との相互理解と連携が進み、大会開催に寄せられた各館種の皆さんの協力・協働が、島根県における図書館運動の母体としての組織的なつながりを生む端緒となればよいなと思います。

松江大会への皆さんの積極的なご参加とご支援を強く期待し、要請いたします。



平成24年10月25・26日  
全国図書館大会島根大会(松江市) 開催!

# 読書体験記募集

読書について日頃感じていること、心に残っている本、図書館に関することなど、気軽に綴って応募してください。入選した方には記念品を贈呈します。詳細は県内公共図書館等に配布しているチラシか、島根県立図書館ホームページをご覧ください。



「信じよう、本の力」

島根県読書推進運動協議会事務局 島根県立図書館内 TEL：0852-22-5729

## 「おすすめしたいこどものほん」 巡回展示

島根県立図書館では、毎年「おすすめしたいこどものほん」を選定し、リストを作成・配布しています。リストに掲載した図書を、市町村図書館等でも実際に手にとってご覧いただくことができます。展示する場所・期間についてはお問い合わせください。

TEL：0852-22-5729

## 「この本いいよ！」

～島根の高校・高専生おすすめの一冊～

### 展 示

高校生、高専生のみなさんから寄せられた、お気に入りの本の紹介コメントやイラストを本とともに展示します。

期 間：平成23年10月27日(木)～11月9日(水)

場 所：島根県立図書館1階ホール（予定）

## マイクロリーダープリンターが 新しくなりました

郷土資料室のマイクロフィルムを見る機械（マイクロリーダー）が、新しくなりました。マイクロフィルムとは、古い新聞や古文書などの資料を縮小撮影して小さなフィルムにしたものです。山陰中央新報の前身である島根新聞、山陰新聞、松陽新報といった古い新聞や、明治から昭和初期の雑誌（島根評論、島根県私立教育会雑誌など）、他館が所蔵している古文書資料（広島大学所蔵土地租税資料、雲州松平家文書、鰐淵寺文書など）など、原本資料での閲覧が難しい資料を手軽に閲覧することができます。

尚、機械が2台しかありませんので、利用が混み合っているときは利用をお待ちいただく場合があります。利用の予約を受け付けていますので、郷土資料室までお問合せください。



利用の予約・問合せ先：郷土資料室 (0852) 22-5742

## 館内資料 展示コーナー

お勧め  
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。6月から8月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。

※展示リストはホームページからもご覧になれます。

※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

### 6月テーマ 国際森林年によせて 一里山と自然を考える

『森の不思議 森のしくみ』

福嶋 司/著 家の光協会

朝日カルチャーセンターでの野外観察講座「森の学校」の内容を書籍化したもの。植物群落と森のしくみ、森林からみる日本列島の自然、森と人のかかわりなど、図やイラストをいれてありわかりやすい。生物だけでなく地球の環境保全にも森は重要な役割をもっていることがわかる。

『“緑のダム”の保続 一日本の森林を憂う』

藤原 信/著 緑風出版

戦後日本の開発事業や林野庁の政策が森林を荒廃させた。戦後の国有林の変遷を林野庁の政策等あわせて解説。コンクリートダムを健全な森林でつくる緑のダムに替えるよう提言している。

### 7月テーマ 離島の魅力

『離島に吹くあたらしい風』

平岡昭利/編 海青社 2009年刊

離島の多くが厳しい生活環境に置かれているなか、新たなツーリズムによって活性化を図る島や、異業種へのチャレンジによって振興を図る島があります。7つの島の事例を紹介しています。

『隠岐 川本貢功写真集』

川本貢功/著 山陰中央新報社 2010年刊

二科展の重鎮である川本氏が、隠岐で出会う感動を多くの人に知ってもらいたいと刊行された写真集です。島人たちの暖かな人情と自然のスケールの大きさが伝わる写真が満載です。

### 8月テーマ おすすめしたいこどものほん2011

『尼子十勇士伝 赤い旋風篇』

後藤竜二/著 新日本出版社 2010年刊

昨年7月、児童文学作家後藤竜二さんが亡くなりました。この作品は亡くなった後、遺作として8月に刊行されました。出雲(いずも)国(くに)、月山(がっさん)を舞台に山中鹿之助の若き日が魅力的に描かれます。入念に調べ上げた歴史小説で、小学校高学年から大人まで楽しめる作品です。

『小惑星探査機「はやぶさ」宇宙の旅』

佐藤真澄/著 汐文社 2010年刊

この作品は、小惑星探査機「はやぶさ」の旅立ちから地球帰還までの7年間の描写が描かれます。日本の高い技術もさることながら、数々の苦境にあきらめることなく挑戦する日本人チームの粘り強さ、責任ある仕事は、私たち日本人に勇気と感動を与えてくれます。

## レファレンス事例紹介

こんな問い合わせがありました

**Q** サツマイモの芽出しをするためのお湯の適正温度と時間を知りたい

**A** 『園芸植物大事典2巻』に「種いもは伏せ込み前に48℃の温湯に40分間浸漬し、消毒する」、また『サツマイモ事典』に「47～48℃の湯に40分間浸漬し、ただちに育苗床に伏込む」とありました。

また、農林水産省ホームページ「子どものための農業教室 サツマイモ そだててみよう」([http://www.maff.go.jp/j/agri\\_school/a\\_tanken/satu/04.html](http://www.maff.go.jp/j/agri_school/a_tanken/satu/04.html))にも「48℃のお湯に40分ほどひたすと、芽の出がよくなります」と記載がありました。

●参考文献 『園芸植物大事典2巻』 (小学館、1988年)  
所蔵場所：参考資料室 資料番号：911059726  
『サツマイモ事典』 (いも類振興会、2010年)  
所蔵場所：参考資料室 資料番号：915802903

島根県立図書館

探検ツアー

大人版

図書館の裏側を  
見てみませんか

普段は、立ち入ることのできない地下2層の書庫や、作業室をご案内します。島根県民の読書や資料調査活動を支える図書館の全貌をご覧ください。

◆日時：10月30日(日)、11月3日(木)文化の日の2回  
10:00～11:00

◆各回定員20名 1階集会室にお集まりください

★問い合わせ先 島根県立図書館中央カウンター  
0852-22-5748



# しまね学校図書館活用教育フォーラム

～学びを支え心をはぐくむしまねの学校図書館～

- 趣 旨** 島根県は、平成21年度から「子ども読書県しまね」をキャッチフレーズに、学校図書館の人的・物的整備に重点を置いた子ども読書活動推進事業を展開しています。3年間の成果を内外に発信するとともに、課題を踏まえ、今後の県の学校図書館活用教育の方向性を確認する機会として、本会を開催します。
- 日 時** 平成23年11月11日（金）、12日（土）
- 場 所** 島根県民会館（松江市殿町159）他
- 主 催** 島根県教育委員会
- 内 容** 11日午後 研修分科会（13分科会）、講演会（5会場）  
12日午前 島根県知事あいさつ、児童生徒意見発表他  
12日午後 シンポジウム「島根の学校図書館の明日を考える」
- 申 込** 9月中旬に発表される2次案内にて参加申込を受け付けます。参加無料。
- その他** 2次案内は、各学校及び図書館等で配布するとともに「子ども読書県しまね」ホームページに掲載します。同ホームページに1次案内を掲載しています。



## 開館日カレンダー



平成23年

**9月** 展示：女性の時代

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

**10月** 展示：日本の遍路、巡礼

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

**11月** 展示：島根スサノオマジック選手おススメの本

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■黒字…9:00～19:00 ■青字…9:00～17:00  
■赤字…休館日  
11月から平日は18時閉館です。

## 読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。お問い合わせ 子ども担当（0852-22-5746）または西部読書普及センター（0855-23-6785）まで。

## お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。  
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索（県立図書館HP）や、電話での問合せ（0852-22-5748）またはお近くの市町村図書館までおたずねください。  
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館（図書館未設置の5町村は中央公民館等）へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

## 郷土資料収集のお願い

島根に関する資料（古いものも、新しいものも）を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

## 利用案内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時  
11月～2月 9時～18時  
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日（祝日にあたる時は開館）・第1木曜日  
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>  
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52  
TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成23年9月6日